

皆さんは「高く跳べないノミ」という話を知っていますか。ノミは自分の体の何倍もの高さにまで跳ぶことができると言われています。人間に当てはめてみると、なんと300m超えのジャンプに匹敵するそうです。驚異的なジャンプ力をもつノミですが、例えば、1m跳ぶことができるノミを30cmのビンに入れてフタをすると、最初は何度もフタにぶつかるそうですが、やがて1分もしないうちに、フタに当たらないギリギリまでしか跳ばなくなるそうです。そして、フタを開けて外に出したとしても、30cmより高くは跳ばなくなるそうです。

ノミは、ほんの少しの間、跳ぶことができないうちで、それを自分の限界だと思い込んでしまっています。私たちの人生に当てはめてみると、少しうまくいかない経験をしただけで、「もう自分にはできない」「これ以上は無理だ」と思い込んでしまい、自分で勝手に限界をつくってしまうということだと思えます。今の皆さんはどうでしょうか？自分で自分の可能性にフタをしてはいませんか？

このノミがもう一度高く跳べるようになる唯一の方法は、1m跳んでいる仲間のノミを、跳べなくなったノミに近づけて、跳ぶ姿を見せることだそうです。

跳べなくなったノミの可能性を引き出したのは“出会い”です。私たちの人生も“出会い”の連続ですね。今の22Hの38人が一つの学級に集まったのも一つの“出会い”ですね。人と人が関わり合っている以上、“出会い”が与える“影響力”はとても大きいです。「この人と出会ったからこそ今の自分がある。」「あの人がいたから頑張れた。」という経験もあるのではないのでしょうか。また、ある一冊の本との出会いや、ある言葉との出会いといったものもあります。ただ、その本や言葉を生み出したのも人であることを考えれば、人生は“出会い”の連続ですね。この学級通信も今回で第18号となりますが、数多くの人との出会いから得た言葉や考え方をとても参考にさせてもらっています。決していい出会いばかりではないかもしれませんが、「高く跳べないノミ」の話に出てきたような“自分の可能性を引き出してくれる人（仲間）”との出会いを大切にしてほしいな、と思います。自分一人では生きられません。必ず、自分に秘められた力を引き出してくれる人との出会いがあると信じています。フタをせず、自分の可能性を信じ、仲間の可能性を信じられる人になってください。一つ一つの出会いを大切にしていきましょう。



出会いが可能性の扉を開く

「僕たちの“夢のつかみ方をすべて語ろう”」(中村文昭、大嶋啓介)